

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 富野 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

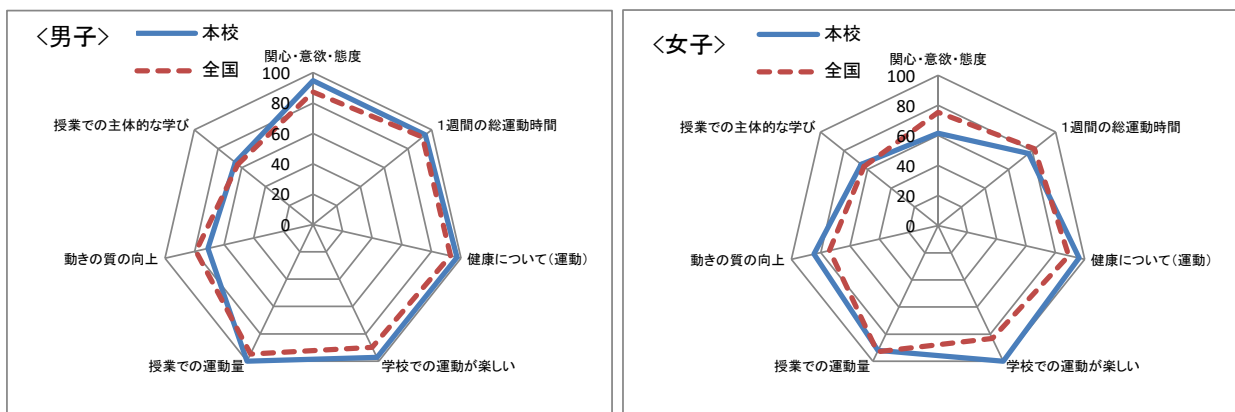
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- 運動習慣や生活習慣に関する質問7項目中、男子6項目、女子4項目で全国平均を上回っている。特に、「運動やスポーツは大切」、「保健体育の授業は楽しい」、「保健体育の授業では、たくさん運動する」という項目の結果の数値が高い。
- 女子の「運動が好き」、男女共通して「動きの質の向上」や「主体的な学び」を伸ばすことが課題である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

- 「運動やスポーツが好きな子どもの育成」を重点目標に、スポーツをする・見る・支える・知るのそれぞれの視点からアプローチを試みている。授業でのめあての提示やスポーツ行事の開催、体育通信による家庭への啓発などにより、生徒に主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせ、「運動好き」から「質を高めるためにどうするのか」へと思考を広げるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 保健体育の授業では、駅伝を行うなど個人種目であってもチーム競技とすることで、仲間への意識や取り組みへの意欲が向上している。
- 通信の発行や校内にオリンピック等、スポーツに関する掲示物を行うことで意欲や関心を高めている。